

4. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・やはり、春になって暖かくなることが、来客数、売上の増加につながると期待している。ただし、1つ懸念としては、競合店の進出などがあり、そのため、若干相殺されることは考えられる。
		スナック（経営者）	・確かに良くなってきている様子であるため、このまま伸びてもらいたい。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・当店の取引先は官庁、学校が多く、店での小売は客が大型店に行ってしまう、どうしても大型店に対抗できない。1年で一番の繁忙期である新学期、また、入学すると子どもたちが各クラブに入り、運動のクラブ活動が始まるため、良くなってもらわないと困るし、良くなることを期待する。
		商店街（代表者）	・期待をしている。暖かくなれば人の動きも活発になり、自然と何かを買い求めると思う。今月の冬の祭りの売出しでも、人出があれば多少なりとも品物は売れ、買上の数字は上がっている。
		商店街（代表者）	・桜が咲き、祭りやゴールデンウィークにかけてにぎわうことを期待する。
		百貨店（営業担当）	・株価が上がリ基調になっているため、期待感により消費マインドが若干上がってくるのではないかと。
		百貨店（店長）	・購買ムードは高まっているため、春になり気温が上がってくれば、動きが活発になってくると考えている。
		コンビニ（経営者）	・天気の良い日の来客数増と、若干だが単価が上がってきていることが少しずつ目立ってきている。3月に入り春めいてくれば、もう少し良くなってくる。
		コンビニ（経営者）	・2、3か月後は気温も上がり、土日に家族連れのお客が増えるためである。
		コンビニ（経営者）	・現在、客単価が非常に低くなっているが、今後は幾分高くなるのではないかと。
		コンビニ（店長）	・先月末に近隣に同じチェーンの加盟店が新規オープンしたため、今月はかなりの影響を受けたが、2か月後はある程度元に戻ると期待している。
		衣料品専門店（統括）	・期待を込めて良くなってほしいと思っている。今年は例年になく寒い日が続く、客の出足が悪い。早く暖かくなり、購買意欲が増すようになってもらいたい。
		住関連専門店（経営者）	・当社でも、中堅から若手を中心に前年度よりも昇給幅を厚くしようと考えている。モチベーションアップもあるが、所属する商工会でも同様のようである。建築、土木、工業等では、わずかながら受注量が増加しており、人材の流出防止のためでもある。収入の増加による地方景気の回復は遅いかもれないが、前向きにとらえている企業が増えている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（従業員）	・公共事業など建設関係は忙しいと思われる。
		一般レストラン（経営者）	・少なからず、海外に依存していた食材が国内でかなりの量が見つかるなど、明るい要素が出てきている。
		観光型ホテル（営業担当）	・オフシーズンも終盤となり、数か月先の予約状況に動きが出始めている。来客数の動きも悪くない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・公共投資が非常に多くなってきているため、今後、建設業やそれに関連して景気はやや上向いていくのではないかと。民間の企業もこういったところで埋め合わせると思う。そのため、やや良くなるのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・気候が良くなって、来客数の動きも活発になってきている。契約する客もかなり増えてきている。新政権になり、皆が明るい気持ちになりつつあると思う。
		旅行代理店（所長）	・為替相場や株価が現状は良い方向に向かっており、当座は良いのではないだろうか。ただし、円安による海外旅行代金の値上がりや想定され、消費税増税も購買力低下を促進する可能性があるため、長くは継続しないのではないかと。
		タクシー運転手	・3、4月は歓送迎会の時期であるため、少しは動くと思うが、これが過ぎるとまた悪くなるのではないかと。
		遊園地（職員）	・景気回復への期待感が高まっており、2、3か月先の景気は今月と比較してやや良くなると推測される。
		ゴルフ場（支配人）	・2月期の反動で、春を待つプレーヤーからの予約が土日を中心に増えてきている。暖かさとともに予約が増える状況だが、前月をカバーできる組数ではない。

	その他レジャー施設 〔アミューズメント〕 (職員)	・株価の問題を含めて全体的に上向き傾向が強いせいもあり、求人をかけても人があまり集まらない。やはり、労働条件があまり良くないところに関しては一般の人の応募も少ない。より良い職種を選んでおり、景気が良くなりつつある発端のような感じがしている。
	設計事務所(所長)	・今月は何件かの問い合わせがあったため、今後は少し上向きになる可能性を信じて、やや良くなる。
変わらない	商店街(代表者)	・行楽時期の天候にもよると思うが、高齢者が外出する機会が増えることで消費がなされるのではないかと。
	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	・大分暖かくなるという予想である。このままいけば幾分良くなる気はするが、変わらない。
	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・太陽光発電の電力買取価格が新年度から下がり、今の勢いが止まってしまうことを心配している。そのために、それほど良くなるとは思わない。
	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・生活に精一杯の様子が全般にみられ、生活用品の購入にも慎重さがみられる。
	一般小売店〔乳業〕 (経営者)	・今年に入ってからの消費の落ち込みが激しく、まだ回復の兆しはみえない。
	一般小売店〔青果〕 (店長)	・世間は株高などで、雰囲気的に景気が良いようだが、当地域は、大企業が7月に合併し消滅することが間違いないため、雰囲気的にも悪く、各工場、中小企業の工業関係なども全く良くなっていない。
	百貨店(販売促進担当)	・これから入進学の実需を迎えるが、年々縮小傾向にある。また、季節の変わり目だが春物衣料の動きが鈍い。今後も引き続き購入への意欲はシビアであると思う。
	百貨店(販売促進担当)	・円安、株高との報道が目立つが、それに連動しての給与増は見込めないため、個人消費の改善には至らない。
	百貨店(販売担当)	・大きな改装などを仕掛けないと、新しい客を取り込むことが難しい。
	百貨店(店長)	・現状も良くないが、新政権の政策の効果がもし出るとしても、まだ先であると思う。
	スーパー(店長)	・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。
	スーパー(総務担当)	・マスコミ等で景気が回復傾向と言われているが、来店客の収入が増えなければ購入には結びつかない。また、多少の収入増では節約志向を変えることはできないと思う。消費が回復するにはまだまだ時間がかかると思う。
	スーパー(統括)	・県内製造業の業況があまり思わしくなく、生産水準の低下で従業員の所得が減っていることが、県内の個人消費の鈍化につながっているとみられ、本格的な景気回復がまだみえない。
	スーパー(経営企画担当)	・株価上昇などはみられるが、給与所得が上がらなければ、末端の小売まではすぐには良くならない。
	コンビニ(経営者)	・円安、株高で上向き気味だが、一般消費者の財布のひもが緩むような景気にはならず、先行き不安材料は多い。アルバイトは学生に加え社会人も相変わらず多い。20時から4時の勤務は、半数が社会人によるダブルワーカーである。しかも、女性、主婦もいる。
	コンビニ(店長)	・このところの極端な天候の変化などが、大分影響している。客単価は若干だが上がってきているため、あとは来客数だけ元に戻れば何とかかなと思う。今後はあまり変化はないだろう。
衣料品専門店(販売担当)	・天候頼みや催事的なものを除けば、今と同様に客の動きは鈍いまま推移していく気がする。しかし、年齢が高い当店の客層を考えると、春になり暖かくなれば動きは良くなると期待しているが、今とあまり変わらない状況が今後も続くのではないかと悪い予感がしている。	
家電量販店(店長)	・地上デジタル放送化特需の先食いの影響が終了する4月からは、テレビの前年比は回復すると予測できる。ただし、金額的には現状のままである。大きな金額構成比を持つ商品が出ない限り厳しさが続く。	
家電量販店(営業担当)	・太陽光発電事業を計画している企業、個人は多い。しかし、売電価格が未確定のため、動きが停滞している。	
乗用車販売店(経営者)	・政府の経済政策で景気が上向けば、例年3月以降は販売量が減少するが、それが緩和されると思う。	
乗用車販売店(販売担当)	・現在、前年を上回る空前の売行きである。しかし、今以上に売れるとは思わないし、このままの状態が続くのではないかと。	
乗用車販売店(営業担当)	・例年だと、この時期は自動車の具体的な商談が発生したが、今のところ件数が少なく、車検の予約等もあまり増えておらず、不安でいっぱいである。	

乗用車販売店（販売担当）	・ここ何か月もずっと同じような中古車の販売台数と新車販売の落ち込みで、とにかく良くなる要素が見当たらない。当店は生き残るためにミニ展示会を実施したり、とにかくいろいろ努力はしているが、相変わらず新車や輸入車の新車の伸びがなく、中古車がほどほどしか売れない。この状態が昨年の暮れからずっと続いている。何か良くなる要素が特別あればいいのだが、景気はそれほど変わらないと思う。
自動車備品販売店（経営者）	・特に良くなる要因などは、まだ手応えとして感じないため、現在と変わらない。
一般レストラン（経営者）	・政権が変わり、アベノミクス効果で円安や株価上昇が続いているが、その影響を受けているのは一部のことで、なかなか我々末端のほうにまでは、その影響が及んでこない。
一般レストラン（経営者）	・政府の景気対策が、我々飲食業界へ影響している実感はまだない。
スナック（経営者）	・変わらないと答えたが、この悪い状況が変わらないということで、決して良いほうの回答ではない。本当に何か向こうが見えないような気がする。新内閣になったが、末端までくるには、まだ程遠いような気がする。
観光型ホテル（経営者）	・今年は短期的な施策が非常に立てにくい。為替の乱高下、参議院選挙等、世の中が落ち着かないため、思ったより景気は冷え込むとみている。
観光型旅館（経営者）	・短期的な顧客増加の動きと、長期的な需要減少とのバランスで考えると、昨年と変わらない。
都市型ホテル（支配人）	・3月以降の予約は、大体例年どおりのペースで入ってきている。
旅行代理店（従業員）	・為替、原油など、まだまだ不安定なためである。
旅行代理店（営業担当）	・景気が上向きのような雰囲気はマスコミの報道ばかりで、現実的に身の回りでは景気が上向き要素がない。
旅行代理店（副支店長）	・春先から夏に向けて、ほぼ前年並みの受注ではある。東日本大震災等の影響は薄れてきており、復興支援のための旅行も多い。しかし、海外旅行は燃料価格、為替の変動が安定しないため受注に波があり、先が読めない。
タクシー運転手	・売上金額の前年比が、ここ3、4か月ほぼ同じである。
通信会社（経営者）	・ガソリンや灯油や生活必需品の値上がりりが、重荷になっている。
通信会社（局長）	・政権交代とともに景気回復への期待感は大きかったが所得拡大などの具体的な変化までには至らず、景気回復に対する実感はなく、期待が過大であったという声が多く聞かれる。
通信会社（総務担当）	・現在、企業としては持ち直してはいるが、消費者に反映されていない。景気対策が消費者に反映されるまでには、まだ時間がかかりそうである。
テーマパーク（職員）	・来園者数は増えつつあるが、東日本大震災後の諸問題が影響し、良くなる材料が乏しい。
ゴルフ場（業務担当）	・2月については、史上最高の入場者を記録することができたが、単価が下落しているため、売上はそう出ていない。客のニーズについては、プレー回数はシニア層を含めて年々増えており、特に富裕層の増加は顕著に見込まれる。プレー費が安いとプレー回数も多くなるが、良いプラン、料金の安いところに客が集中する傾向にあるため、業績、収支がプラスになるのはなかなか難しい。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上が、ほぼ横ばいである。
美容室（経営者）	・来月から卒業式等のイベントがあるが、消費者は出費をする状況であり、ガソリン、灯油等が上昇しているため固定経費が増加し、良い方向に向いていない。
美容室（経営者）	・悪い状態で変わらない。地方の街では、打つ手がないと思えるほど景気は冷えきっている。そういったなかで景気回復などとニュースなどで聞いても、それは都会での話なのだろうと思える。この街でも助成金などを受けながらテナントショップなどを作っている市民の動きもあるが、店内はいつも閑散としている。自己資本なら決して続けられないし、また、人の流れも回復できなかったとして既に撤退しているだろう。地方と中央はあまりにも違いすぎる。
その他サービス〔清掃〕（所長）	・景気が良くなる期待感はあるが、すぐに給料等の上昇は期待できないため、大きな変化は望めない。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・政府の景気対策への期待感から来客数は増えてはいるが、売上等に関しては買い控えが顕著に起きているため、変わらない。
設計事務所（経営者）	・仕事量からすると、しばらく忙しくなりそうである。
設計事務所（所長）	・来月は決算のため、追い込まれて忙しいとは思いますが、受注の貯金がないためかなり厳しい。

	住宅販売会社（従業員）	・別荘滞在客が高齢化しており、若年層は別荘所有よりリゾートホテル志向が強い。	
	住宅販売会社（経営者）	・消費税増税が実施されるかどうかには特需が生じるかが掛かっている。当業種は、景気が上向きになっている実感がないと良くならないため、変わらない。	
	住宅販売会社（従業員）	・受注は好調に推移しているが、職人が不足しており、施工が予定工期に収まらない事例が散見される。東日本大震災の復興に人手が取られている間は売上が頭打ちとなり、原価も厳しくなることが想定される。	
やや悪くなる	スーパー（商品部担当）	・円安で輸入品の価格高騰による影響が出てくる兆しがある。	
	乗用車販売店（従業員）	・燃料費の高騰が今後も続くと思われるため、大きく増加することはなく、また、少子高齢化により減少傾向になっていくと思う。	
	乗用車販売店（統括）	・4月からは取扱商品に特に目新しいものがないためである。	
	高級レストラン（店長）	・近隣の個人商店が、近いうちに数店舗閉店する話を聞いており、まだまだ状況が悪化すると思われる。	
	スナック（経営者）	・3、4月の異動時期の予約が、今のところ非常に少ない。	
	タクシー（経営者）	・昼も夜も客の動きが悪く、この先もまだ悪いと思う。	
	通信会社（経営者）	・当面は円安による仕入価格高騰で利益がひっ迫する状況が続く。	
悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当地域で地震が起きており、観光地であるため、再び地震が発生すると経済的にも大変だと思う。そういったことを考えると、景気が良くなることはありえない。	
	スーパー（経営者）	・出店ラッシュが更に続くため、悪くなる。	
	衣料品専門店（経営者）	・新政権になってから、政府の発表どおりの景気の良さは、地方の商店街では全くみられない。	
	通信会社（経営者）	・行政や外郭団体までもが緊急雇用でデザインや広報を内製してしまえば、それだけ企業に流れる仕事は減少する。企業にお金流れなければ、一般でお金が流通するはずもない。この負のループはいつまで続くのか。	
企業動向関連 (北関東)	良くなる	食料品製造業（営業統括）	・円安、株価上昇と政府の景気回復政策も良い方向に進んでおり、比較的回復の遅いし好品であるワインへ良い影響が出てくると考えられる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・現在太陽光の42円買取制度に合わせて高圧太陽光発電が動きだす予定である。
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・デフレ脱却に期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国向けの油圧ショベルの仕事が若干回復し、受注が入ってきている。また、自動車の開発関係を中心に、新規案件の話も引き続き出てきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・様々な業種で、何となく良い方向に向かっている感じがする。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、競争相手等もしばらく低迷していたため、これ以上低迷しそうもなく、若干でも良くなると思う。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーからの生産の3か月見通しからは、3月がピークになり、4、5月になると1月ごろにきた生産見通しからみて8%ほど生産計画が上振れしており、全体的に国内も少し好調になってきている。ただし、その反動で6、7月には減産計画が立っているが、全体的には徐々に持ち直してきている状況である。
		建設業（総務担当）	・補正予算も成立し、発注量の増加が予測される。
		金融業（調査担当）	・国の政策対応により、先行きのマインド面は改善する見通しである。
		不動産業（管理担当）	・大きな管理先は失ったが、比較的大きな建物の管理の話が新たに増えてきている。価格競争も一服した様子であるため、今後の収益の見通しが、少しではあるが期待できる。
		広告代理店（営業担当）	・新年度の販売促進予算は、前年より1割以上多くとっているようである。期中に増える可能性もあるとの声を聞くので、多少は良くなる。
		経営コンサルタント	・新年度に向けた景気浮揚への期待感はある。ただし、イタリアに発した世界経済への影響、為替変動、原油価格の高値推移などが懸念され、地域企業の先行きに対する期待感は乏しい。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・価格は相変わらず厳しいが、引き合い、受注量共に増加傾向にある。
変わらない	化学工業（経営者）	・4月からの新年度で、製品を購入したいとの話が東北地方から入ってきている。東日本大震災の復興が本格的に進み始めたと感じる。	

		<p>窯業・土石製品製造業（経営者）</p> <p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（営業担当）</p> <p>その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）</p> <p>輸送業（営業担当）</p> <p>通信業（経営者）</p> <p>金融業（経営企画担当）</p> <p>金融業（役員）</p> <p>新聞販売店〔広告〕（総務担当）</p> <p>司法書士</p> <p>社会保険労務士</p>	<p>・新商品投入に期待感はあるものの、すぐ数字となって現れるとは思えず、現状のまま推移する。</p> <p>・取引先である換気扇部品製造の会社から、3か月先には仕事が多くなると言われているが、今まで同様あまり当てにならない。また、全体的にどの取引先からも仕事量が少なくなってきた。</p> <p>・仕事確保のため、あらゆるつてをたどって営業をしている。仕事の単価は下がるが、賃金を上げるとしており、中小零細企業はますます身を切らねばやっていけなくなる。あらゆる努力をして、現状以上を確保していきたい。</p> <p>・民間工場の設備投資が非常に少ない。景気回復にはまだまだ時間が掛かりそうである。</p> <p>・4月以降、春めいて暖かくなれば動きは出てくると期待している。ただし、昨今の地金を含む材料費の高騰で、商品単価が上がることによるジュエリー離れが懸念される。</p> <p>・新生活向けに引越依頼の予約やそれに関連する白物家電、インテリア雑貨などの物量の確保は前年並みになりそうである。しかし、円安傾向により、原油高による燃料高が今後も続きそうであるため、利益確保は難しい。</p> <p>・景気が上向き期待感の割りに、上向きの実感は得られない。まだまだ時間が掛かりそうである。</p> <p>・観光業は、春の観光シーズンに向かうため期待感はあるものの、製造業は抜本的な景気対策も見出せず、先行き不透明な状況が続くと思われる。</p> <p>・アベノミクスの浸透はこれからと予想しているため、現状ではまだ変わらない。</p> <p>・食糧品店、飲食店での話では、消費者は必要最小限のものしか求めない。ホームセンターでは、1人当たりの買物点数が1.5個減少している。円安でガソリン、灯油が値上がりし、今後輸入品に頼る商品では価格転嫁など経営面で頭が痛いと話している。</p> <p>・ややムードが先行している部分があって、明るさは取り戻しているが、補正予算の効果も当地域まではまだ届いていない気がする。</p> <p>・円安等の恩恵を受けるであろう製造業でまだ変化が見られない。しばらくは今の状況が続くと思う。</p>
	やや悪くなる	<p>出版・印刷・同関連産業（営業担当）</p> <p>一般機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>不動産業（経営者）</p>	<p>・環境関係等の見積入札が、かなり低価格での落札になっており、なかなか入札できない状況が続いている。</p> <p>・受注は底を打ち、今より悪くなるとは考えられないが、当分上昇の兆しは見えず、非常に不安を感じている。</p> <p>・恐らくアベノミクスの効果が我々のところに回ってくるのは、半年か遅ければ1年後になると思う。安定的な政権ならば十分我々のような中小企業にも影響があると思うが、状況としては、かなり厳しい。やはり生産の海外移転が止まらず、製造業としてはかなり苦しい状況が続く。</p> <p>・周囲には、正規、非正規を問わず雇用そのもの、あるいは労働条件で困難を抱えている人々が増えているため、やや悪くなる。</p>
	悪くなる	<p>食料品製造業（製造担当）</p> <p>出版・印刷・同関連産業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>建設業（開発担当）</p>	<p>・原油価格が高騰し、灯油も100円になりつつある。デフレ下でこの状態が続くと収支が非常に厳しい。</p> <p>・毎月、資金繰りが本当に大変である。</p> <p>・4月から、当社が生産している電話送受話器の半数が海外生産に移行する予定であるため、受注量が減少する。</p> <p>・公共工事は現在、施工がピークであるが、3月以降9月までは補正予算が計上されるため期待したい。ただし、施工の速い工種に発注が集中しそうで、工種的に恩恵を受けるのは難しいかもしれない。今後は営業に力を注ぎ、特に民間工事受注が大事である。</p>
雇用 関連  (北関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・デフレ脱却、成長への期待感が高い。政策の効果に対する期待感が強い。
	やや良くなる	<p>人材派遣会社（管理担当）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・携帯電話関連で短期の派遣契約が増える予定である。</p> <p>・企業から、底を打った、先が見えてきた等の声が聞こえてきた。各データにはすぐには反映されないと思うが、上昇傾向になってくる。</p>
	変わらない	<p>人材派遣会社（経営者）</p> <p>求人情報誌製作会社（経営者）</p>	<p>・何か景気が良くなる感じはしているが、現場ではまだ景気が全く動かず、先行きは分からない。</p> <p>・周辺企業の景気上昇はまだ大分先になる見通しである。</p>

	職業安定所（職員）	・東北の復興に関わる建設業関係の新規求人数は、前年比31.8%増となっている。特に、中小個人事業主の新規登録からの提出が多い。また、運輸業においても建設業の動きに合わせて東北関連の流通が活発化しており、求人数も増加している。ただし、製造業においては円安で動きはあるものの、雇用につながるまでには至らず、職種間の雇用の受け皿にばらつきが目立つ。
	職業安定所（職員）	・企業からの求人申込みが若干増加の様子をみせているが、派遣求人等の正社員以外での求人が目立ち、採用への意欲の高まりは全体的にまだない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・景気への期待感は上がっているが、実態にどう反映されるか慎重に考えている企業が多い。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・正規採用の採用基準が非常に高い状況が続いている。高卒の採用枠も少なく、資格などスキル面なども重要な要素であるが、人間性が重点的に見られているように感じる。
やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・販売では、衣料品や食品関係のパート募集はあるが、今後は新学期や卒業を迎えた人の再就職なり新卒者が出てくるため、パート等の募集は非常に少なくなると思う。また、製造関係は非常に少ない状態であるが、幾分増えていくという期待を持っている。しかし、今のところ少ない状況であるため何ともいえない。
	職業安定所（職員）	・2月の新規求人数は、ほとんどの産業で減少しており、前年同月比10.3%減と大きく減少している。また、管内企業の現況について、訪問したり窓口で聞くと、内容的には先月同様、仕事量は変わらないが、コスト面では価格競争が厳しい状況であるという。また、親会社側が取引先と4月以降の契約が厳しい状況であるなどの声もあった。また、現時点では、25年3月くらいまでは仕事はあるものの、その後ははっきりしない面もあり、管内企業においての合併や事業統合などの影響から、仕事量的にも今後厳しいという説明なども多いことから判断した。
悪くなる	-	-